1	
ルボロー	
作成日	
11/-/	

薬剤管理サマリー

细曲

下記患者様の入院中の薬学的管理・支援等について共有させていただきますので引き続き支援の程お願いいたします。 基本情報 年齢(歳) 性別 氏名 生年月日 体重(kg) 体表面積BSA(m²)〔Du Bois式〕 身長(cm) 退院日(予定日) 入院期間 入院日 日 退院時の病棟 入院時の病棟 主治医 診療科 今回の入院の目的・病名等 入院時情報(薬学的総合評価) 服薬管理状況 □ 自己管理 □ 看護師管理 □ 介助者(家人等含む) 管理 □ その他 調剤方法 □ PTP等 □ 一包化 □ 簡易懸濁 □ 粉砕 □その他 投与経路 □ 経口 □ 経管 認知機能低下の有無 □無 □有 指標としたツール アドヒアランス状況 □ 良好 □ 多少問題あり □ 不良 □その他 副作用・アレルギー歴 お薬情報ツールの確認 お薬手帳 薬剤管理サマリー その他 検査情報 腎機能 (測定日) SCr(mq/dL) Ccr(CG式:mL/min) その他特筆すべき検査情報 標準化eGFR(mL/min/1.73m²) 個別化eGFR(mL/min) 持参薬情報 剤 処方医療機関 Α В С 医薬品名 用法 転帰の理由等 施設 1日量 入院後転帰 転倒リスク 高齢者リスク 入院中の経過 日付 経過区分 医薬品名 経過の理由等

入院中の薬学的管理・支援に関する経過等								
(11111111111111111111111111111111111111								
退院時処方	剤	肥瀬」 #	い残薬の有無	無 □無 □	有 →	有の場合の対応		
医视时处力		加来しる	1日量	用法		日の場合の別心	 特記事項	
			1H=	71372	<u>п</u> ж		内心子久	
	5.1.1.61.							
	書以外のお薬情報			長シール(未持参の	ため) 凵 楽		その他	
薬剤総合評価 薬剤調整			東京 東京 東京					
梁刖詗罡	川昇			管理・支援のフ	 +ローマップ			
□ 加古亦再に伴	ラング						ひび副作用モニタリング である かいまま しょうしょ しょうしょ しょく しょく しょく しょく しょく しょく しょく しょく しょく し	
] 身体機能 □ <u>2</u>				<u> </u>	3水 □ 刈未刊たか	XU面がF用て二グリング	
			L					
以上、ご不明な原								
	病院	住所	・電話番号・	emailアドレスな	ìĔ		担当薬剤師	

薬剤管理サマリー

〇×薬局 担当薬剤師様 御中 下記患者様の入院中の薬学的管理・支援等について共有させていただきますので引き続き支援の程お願いいたします。 基本情報 年齢(歳) 氏名 日病 太郎 性別 男 生年月日 1930/8/8 身長(cm) 155 体重(kg) 50 体表面積BSA(m²)〔Du Bois式〕 1.47 退院日(予定日) 入院日 2023/7/1 2023/8/12 入院期間 42 \Box 入院時の病棟 一般病棟 退院時の病棟 地域包括ケア病棟 主治医 渋谷 次郎 診療科 整形外科 今回の入院の目的・病名等 右大腿骨転子部骨折 入院時情報(薬学的総合評価) □ 自己管理 服薬管理状況 □ 看護師管理 ☑ 介助者(家人等含む) 管理 □ その他 調剤方法 ✓ PTP等 ☑ 一包化 マグミットのみPTP □ 簡易懸濁 □粉砕 □ その他 □ 経管 投与経路 ☑ 経口 アルツハイマー型認知症 病名判断 認知機能低下の有無 □無 ☑ 有 指標としたツール アドヒアランス状況 □ 多少問題あり ☑ 良好 □ 不良 □ その他 副作用・アレルギー歴 なし お薬情報ツールの確認 薬剤管理サマリー その他 お薬手帳 持参 無 血圧手帳 検査情報 腎機能 (測定日) 2023/9/5 SCr(mq/dL) Ccr(CG式:mL/min) 29.4 その他特筆すべき検査情報 標準化eGFR(mL/min/1.73m²) 59.7 個別化eGFR(mL/min) 50.6 持参薬情報 4 剤 処方医療機関 △△病院 ××クリニック Α В С 転帰の理由等 施設 医薬品名 1日量 用法 入院後転帰 転倒リスク 高齢者リスク Α アムロジピン5mg 1錠 朝食後 減量 血圧低値 有と評価 未評価 2錠 朝夕食後 腎機能障害あり ファモチジン錠20mg 減量 未評価 Α 朝夕食後 Α マグミット錠330mg 2錠 継続 未評価 В メマンチン錠10mg 1錠 朝食後 継続 未評価 入院中の経過 日付 経過区分 医薬品名 経過の理由等 7/1 追加 カロナール200mg 疼痛コントロールのため3T 3×Nにて内服開始 7/1 腎機能障害あり、ファモチジン10mg 1日1回に変更 減量 ファモチジン20mg 7/5 追加 チアプリド25mg 入院後不穏あり1T 1×Aで内服開始 減量 地域包括ケア病棟への転棟、疼痛軽減傾向のため2T 2×MAに減量 7/15 カロナール200mg 7/20 カロナール200mg リハビリにて疼痛増強あり、2×MTに用法変更 変更 変更 8/2 アムロジピン5mg 血圧100mmHg下回るため、アムロジピン2.5mgに減量

Z	院中の	薬学的管理	支援に	関する	終渦	쏰
	いいしてい	/苯丁川64	- X 1/2 (C	スフつ	ルエルツ	73

自宅にて廊下で転倒し、右大腿骨転子部骨折にあり、手術目的で入院。

入院時~疼痛コントロール目的にてカロナール200mg 3T 3×Nにて内服開始。

入院時血液検査にて腎機能障害あり。ファモチジン減量基準にかかるため、ファモチジン10mg 1日1回に減量。

入院後、不穏・夜間せん妄あり、チアプリド内服開始。内服にて落ち着き、夜間も良眠しています。

地域包括ケア病棟へ転倒後、疼痛軽減傾向にて、カロナール200mg 2T 2×MAに減量。リハビリ歩行訓練にて疼痛増強することあり、用法を2×MTに変更。変更にて疼痛自制内です。

収縮期血圧100-110mmHg推移し、100mmHgを下回ること多く、リハビリ時ふらつきあり、転棟リスクあるため、アムロジピン5mg→アムロジピン 2.5mgに減量。減量後、収縮期血圧110−120台推移し安定、ふらつきも落ち着いています。

		_								
退院時処方	6	剤	服	薬しな	い残薬の有	無回無□	有 →	有の場合の対応		
医薬品名			1日量	用法	日数特記事項		項			
アムロジピン5mg			0.5錠	朝食後	14日					
ファモ	チジン10n	ng			1錠	朝食後	14日			
メマ	ンチン10m	ıg			1錠	朝食後	14日			
カロ [.]	ナール200	mg			2錠	朝昼食後	14日	減量検討中。疼痛状況に合わせて調節可。		
マグ	ミット330r	ng			2錠	朝夕食後	14日	F	PTP調剤	到
£7	アプリド25m	ng			1錠	夕食後	14日			
◆提供した本文書	以外のお薬	情報	☑ ŧ	3薬手	帳 🗌 手巾	帳シール(未持参の	ため) 🛭 薬	剤情報提供書 🖸 その	他	血圧手帳(更新)
薬剤総合評価訓	離加算	未算	定	対象	薬象					
薬剤調整加	算	未算	定	対象	薬象					
				退院征	後の薬学的	管理・支援のファ	tローアップイ	衣頼内容等		
☑ 処方変更に伴う	継続評価	□ァ	ドヒアラ	シスの	改善 🗌 🛔	没与方法 □ ポリ	<u>ファーマ</u> シー対	策 🗌 効果判定及び副	il作用t	ニニタリング
□ 認知機能 □	身体機能	□生	活環場	竟 🗌	その他					
カロナールは疼痛状況に合わせて調節いただくよう説明しています。退院後、疼痛落ち着いているようでしたら、減量・頓用への変更についてご検討お願いい										
たします。										
血圧低めにてアムロジピン減量しています。減量にて血圧110-120台推移し、ふらつきなどなく経過しています。引き続き退院後の血圧のモニタリングをお										
願いいたします。										
入院中、不穏・夜間せん妄にてチアプリド内服開始となっています。退院後、傾眠になるようでしたら中止についてご検討お願いいたします。										

以上、ご不明な点がございましたら下記までご連絡ください。

_____○○病院 ______病院 〒150 - 0002東京都渋谷区渋谷2丁目12番15号 ______ TEL: 03-●●●-●●●FAX: 03-●●●-■■■■

担当薬剤師

 $\wedge \wedge$

Email: yakuzaibu@ ● ● .or.jp